

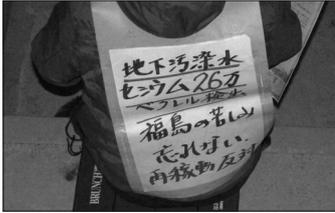
さようなら原発 越谷連絡会

会報 No.38

●発行 さようなら原発越谷連絡会 編集委員会

●連絡先 〒343-0023 越谷市東越谷 1-5-17 TEL&FAX 048-962-8052 <http://sayonarakoshi.jimdo.com/>

- さようなら原発越谷連絡会は、再稼働反対国会前抗議行動（毎金曜日）と、第3金曜日には、越谷独自の集会和パレードを行っています。
- 第3を除く金曜日は新越谷駅上りホーム後方（越谷駅寄り）に、17時集合・出発しています。
- 独自に国会前に向かわれた場合は、国会正門から見て左側歩道の国会に近い場所を定位置にしています。
- 第3金曜日の越谷独自行動（3金脱原発越谷行動）は、越谷市役所東側中土手広場（平和橋下）に18時集合・開始で、どなたでも発言自由のアピールタイム。歌や楽器でのアピールもOKです。こののち、越谷駅までパレードをしています。誰でも、どなたでも参加していただける集会和パレードです。ぜひ、ご参加ください。
- お問い合わせは080-1229-3661(飛山) / 080-5670-7117(増田) / 090-4010-1334(石山) まで



● 2月20日は43人、3月20日は47人の参加者でした。このところ雨が降ったり寒かったり、金曜日という条件が悪いのですが、それでも40人台を切ったことはありません。17日も集まろう。

● 20日は、開通した6号線で大熊、楢葉、富岡、双葉などを訪れた2名の方の報告がありました。現地の放射線量は4~5マイクロシーベルト。こんな状態で「帰還」とは……。収束なんてウソ。



テントの中ではかわいそう。でも元気のいいうた。そのリズムとパワーが雨を吹き飛ばす！「げんこつ」の仲間たち15人。ありがとう

かけ「集会」は始まった。挨拶のトップバターは地区労働長の石山博さん。「今日は悪条件が重なり、参加者は少ないが、最後までやりきりましたよ」と挨拶。

次いで、挨拶に立った越谷九条の会代表委員の石河秀夫弁護士「折しも今日はピキニデー。これ以上放射能の被害を受けはならない。原爆ゼロ

この日は集会前から降雨が予想されるということから、急ぎよステージ用テント二張を用意することから始まった。

会場周りには、「原発は要らない！ 即時ゼロ」と書かれた横断幕と「再稼働反対！」「フクシマを忘れるな」「原発はいらない」と書かれた赤緑黄三色の幟六本も立てられた。テント内では、「児童デーげんこつ」の木村鉄也さんと明彦さんがマイク四本を用意した音響テストなどで大忙し。

間もなく開会時間というのに、雨は強まり、人の集まりは少ない。東武線は北千住と北越谷間が人身事故で不通とのことだ。テントの前には傘を差しながら開会を待つ人が四〇人程。

午後二時、司会者がテント中央に立ち「こんな悪状況ですが、予定通り開会したいと思います」と呼び

3・1越谷大集会&パレード

雨、東武線不通の悪条件下——でも、95人が元気に声をあげた！

三月一日、東日本大震災から四年を迎えるのを前に、雨降る中、午後二時から越谷市役所東側中土手広場に於いて「さようなら原発」越谷『大集会』が開かれた。集会は、「3・11」を決して風化させない！ 原発廃炉！ 原発再稼働を絶対許さない！ 原発情報を覆い隠す特定秘密保護法を葬ろう！ などを合言葉に企画された。

を目標して共に頑張りますよ」と。

クラブ生協の理事長清水泉さんと支部長の佐藤真知子さんからは脱原発を進める生協の闘いの報告があった。

その後、アトラクシオンとして三つのチームが合唱で集会を盛り上げてくれた。最初は、木村鉄也・あきひこと「げんこつ」の仲間たち一五名によるコーラス「うそのない空を」。元気いっぱい大声でうたつてくれ、寒さを吹っ飛ばしてもらった。次は、埼玉東部合唱団レインボーの添田さんら有志四人が「青い空」と「広島のある国」を歌ってくれた。最後は、青年を代表して、東越谷の大里さんとお友達七人で「イマジン」と「戦争を知らない子供たち」を力強く歌ってくれました。

雨の中、傘をもちながらずっと参加してくれた中に四月の地方選挙に立候補予定者がいましたので、自己紹介と一言アピールをしてもらいました。

この日の参加者では、県議候補予定者は金子まさえさん。市議候補予定者は石井孝幸さん・辻浩司さん・山田裕子さん・広瀬伸一さん・宮川雅之さん・工藤秀次さんでした。

集会の最後は、サンダルに素足で参加した二四歳山脇雅史君の音頭にあわせて参加者全員でシユプレヒコール。この後は宣伝カーに続いて越谷駅をUターン、東越谷四丁目のクラブ生協生活館までデモ行進しながら、「原発再稼働反対」「電気は足りてる」「福島を守ろう」「子供を守ろう」と声を上げながら行進した。

終着点の生活館では、クラブ生協の方々から暖かいト汁と炊き込みご飯弁当を用意して出迎えていただき、疲れも寒さも吹っ飛んだ感じだった。（飛山幸夫）

その後、アトラクシオンとして三つのチームが合唱で集会を盛り上げてくれた。最初は、木村鉄也・あきひこと「げんこつ」の仲間たち一五名によるコーラス「うそのない空を」。元気いっぱい大声でうたつてくれ、寒さを吹っ飛ばしてもらった。次は、埼玉東部合唱団レインボーの添田さんら有志四人が「青い空」と「広島のある国」を歌ってくれた。最後は、青年を代表して、東越谷の大里さんとお友達七人で「イマジン」と「戦争を知らない子供たち」を力強く歌ってくれました。



平和橋を渡るパレード。雨の中だが活きのいいコールが続く。傘の花もいいもんだ

越谷市議会議員立候補予定者 45 人に聞きました

「原発」への考え方は？ その姿勢は？ 取り組みは？

—— 3月に実施したアンケートの結果から

(アンケート発送3月1日/回答期限3月13日)

「さようなら原発越谷連絡会」では、4月26日に投開票される越谷市議会選挙にむけて、立候補を予定されている方々の「原発」に対する考え、姿勢も投票の判断材料となると考え、3月上旬、2月28日現在立候補を表明されている45名の立候補予定者に対して、以下のアンケートを実施しました。3月23日現在、残念ながら回答者は12名ですが、その結果をそのまま掲載します。投票時の一つの判断材料としてぜひ活用してください。(増田誠/さようなら原発越谷連絡会運営委員会)

●立候補予定者へのアンケート項目 (アンケート用紙)

●以下の質問にお答え下さい (A, B, Cに○印)

①原発は日本に必要ですか？

A. 不要です

B. 必要です

C. どちらでもない

②原発の再稼働について

A. やめるべきだ

B. やむを得ない

C. どちらでもない

③川内原発の再稼働を認めた鹿児島県知事の判断については？

A. 反対です

B. 賛成です

C. どちらでもない

④原発輸出は？

A. やめるべきだ

B. やむを得ない

C. どちらでもない

⑤原発の廃炉にともない建て替えが検討されていますが？

A. やめるべきだ

B. やむを得ない

C. どちらでもない

⑥越谷市は再生可能エネルギーの活用を積極的に進めるとしてありますか？

A. 具体的な提案の用意がある

B. 提案はない

C. どちらでもない

⑦毎月第3金曜日越谷で反原発の集会とパレードが2年前から行われているがご存じですか？

A. 知っている

B. 知らない

C. 関心はある

⑧福島原発被災地に行きましたか？

A. 行ったことがある

B. 行っていない

C. 行ってみたいと思う

*御意見を記入いただくスペース

お名前：

* 8 福田晃 条件や前提を記載させていただいたうえで一番近いものに○をつけます。①=将来的にはゼロにすべき A。②=避難計画など万全ではないのでやめるべき A。③=①、②の理由にて A。④=安全が確立してない以上反対だが、法律での規制には慎重 C。⑤=新設には反対、建て替えを含む A ⑥=太陽光パネル導入への補助金継続が現実的。又、小学校等にパネルを設置し、具体的な教育をしていくことが将来的には意味があると考え。⑧=震災被災地はあり。

* 9 松田典子 ⑥A、新しく建てた庁舎、保健所では太陽光パネルの利用で電力、冷暖房に利用しているようだが、再生可能エネルギーの専門家が常駐しているわけではないので、専門家の知恵を取り入れて積極的に活用してほしいと思う。①A②A③Aただし、国策として推進してきた以上、そこで働いてきた方々の雇用は国で保障すべきである。原発の事故の処理と保障が終わらない以上、再稼働も輸出も言語同断である。

* 10 山田大助 三金行動に毎月取り組んでいること敬意を表します。日本共産党越谷市議団は市として再生可能エネルギーを活用すべきとたび重ねて取り上げてきました。4年前に福島原発事故が発生した直後に、真っ先に市として測定等の対応すべきと市長に要望しました。引き続き再稼働を許さず、原発ゼロをめざして、国会議員団、県議会議員団とも連携・協力して取り組みます。

* 11 山田ゆう子 「福島原発の事故がいまだに収束してない中で、子供を育てる母親たちは放射能汚染による健康被害の不安にさらされ続けています。子供たちが命のバトンをつないでいけるよう、自然エネルギーの推進で地域から原発ゼロを目指したいと思います」

●立候補予定者からの回答 (五十音順・敬称略/3月13日現在)

■回答者

- 石井孝幸……………①=A ②=A ③=A ④=A ⑤=A ⑥=A ⑦=A ⑧=A * 1
- 大石美恵子……………①=A ②=A ③=A ④=A ⑤=A ⑥=A ⑦=A ⑧=A * 2
- 工藤秀次……………①=A ②=A ③=A ④=A ⑤=A ⑥=A ⑦=A ⑧=A * 3
- 白川秀嗣……………①=A ②=A ③=A ④=A ⑤=A ⑥=A ⑦=A ⑧=A * 4
- 辻浩司……………①=A ②=A ③=A ④=A ⑤=A ⑥=A ⑦=A ⑧=A * 5
- 土屋公司……………①=A ②=A ③=A ④=A ⑤=A ⑥=A ⑦=B ⑧=A * 6
- ひろせ伸一……………①=A ②=A ③=A ④=A ⑤=A ⑥=A ⑦=A ⑧=A * 7
- 福田晃……………①=A ②=A ③=A ④=C ⑤=A ⑥=A ⑦=A ⑧=B * 8
- 松田典子……………①=A ②=A ③=A ④=A ⑤=A ⑥=A ⑦=A ⑧=C * 9
- 宮川雅之……………①=A ②=A ③=A ④=A ⑤=A ⑥=A ⑦=A ⑧=A
- 山田大助……………①=A ②=A ③=A ④=A ⑤=A ⑥=A ⑦=A ⑧=A * 10
- 山田ゆう子……………①=A ②=A ③=A ④=A ⑤=A ⑥=A ⑦=A ⑧=C * 11

■無回答者

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| ●浅古高志 | ●荻原慎太郎 | ●清田巳喜男 | ●寺島義人 | ●畑谷茂 | ●武藤智 |
| ●畔上順平 | ●金井直樹 | ●瀬賀恭子 | ●野口和幸 | ●服部正一 | ●村松貴志 |
| ●伊藤治 | ●菊池貴光 | ●関根政雄 | ●野口佳司 | ●藤森正信 | ●守屋亨 |
| ●江原千恵子 | ●後藤孝江 | ●高橋幸一 | ●野村直子 | ●細川威 | |
| ●大野保司 | ●小林豊代子 | ●竹内栄治 | ●橋詰昌児 | ●松下高広 | |
| ●岡野英美 | ●島田玲子 | ●玉井政美 | ●橋本哲寿 | ●松島孝夫 | |

■立候補予定者からの御意見

- * 1 **石井孝幸** 東京電力福島第一原発事故から4年がたち、再び政府が原発再稼働を進めようとする最中に「汚染水」が長期にわたって海に流れ出ている事実が明らかにされました。しかもその事実を東電はひた隠しにしていました。もはや東電に福島第一原発をコントロールする能力がないことは明らかです。それは全ての電力会社に言えることです。全ての原発を廃炉にすべきです。
- * 2 **大石美恵子** 『日本はなぜ「基地」と「原発」を止められないのか』という本を読みました。矢部宏治：著。集英社インターナショナル：発行所です。南相馬市出身の私は、大変辛い思いをしております。皆様もぜひ読んでみて下さい。
- * 3 **工藤秀次** 第3金曜日の集会やデモ行進には、11月から参加させていただいています。皆さんの毎月の行動やさまざまな活動に敬意を表します。私は、新人なのでまずは、当選して、越谷市に ①再生可能エネルギー活用促進 と ②継続的な放射能値測定などを求めていきたいです。原発再稼働を許さず、原発ゼロをめざして、国会議員団や県議会議員団と連携・協力して取組みます。
- * 4 **白川秀嗣** 3.11 福島原発事故は、戦後の日本人の価値観や生き方を大きく転換せざるをえない教訓となりました。それは、巨大な施設などのインフラによって、とくに都市生活者が地方の犠牲の上に成りたってきた「便利で豊かな」生活であったことを可視化することになりました。電気のあり方、コンセントの向こう側の事に関心をもたざるをえない状況です。これは単に原発から再生エネルギーに変えれば良いという事だけでなく、私達の中にある依存体質や中央集権的発想を自らの責任として問い続け、考え続けることの大切さをおしえています。
- * 5 **辻浩司** 脱原発は原発を止めれば達成されるわけではありません。徹底した省エネ（技術の開発と意識の向上）、創エネ（再生可能エネルギーの拡大）をやりつつ、当面のベース電源となる火力発電の操業負荷の低減、原発立地自治体の雇用の確保、廃炉技術の研究など、課題は山積しています。3.11 原発事故は、一義的には国と東電の責任ですが、原発に依存し、無自覚にエネルギーを使い、結局のところ国にお任せにしてきた私たちの暮らしや社会の延長線上に起きた事件です。その責任を私たち1人1人が受けとめ、地域で何ができるか、そのためにどんな議員を選び、その議員に何をしてもらおうかを考えていくことが重要と考えます。
- * 6 **土屋公司** マンションの屋上に積極的に太陽光パネルの設置を推進すべきです。設置しようとする管理組合には、補助金制度ではなく、第三者管理、信託受託方式で、越谷市が設置費用を貸し付け、その費用は市民からのエコファンドとして起債し、売電収入から返済して貰う。マンション区分所有者にも屋上使用料として売電費から還元出来るシステムです。太陽光発電で市も市民もマンション区分所有者も収入が入ります。
- * 7 **ひろせ伸一** さよなら原発越谷連絡会のみなさんの日頃のご奮闘に敬意を表します。全国各地で、ねばり強い運動が広がり原発が動かず500日を超えています。原発ゼロの日本をめざし、私もがんばります。



●3月1日の集会で、カンパ金1万5023円が集まりました。有難うございました。郵送代等に使用させていただきます。

南越スタンディング (毎週水曜日 13:00 ~ 14:30 毎週土曜日 17:00 ~ 18:30)

●場所：南越谷駅と新越谷駅の乗り換え通路 ●参加：抗議したいこと・アピールしたいことなどをプラカードに書いてお持ちください。(団体とか政党とか宗教とかじゃなくて、個人で参加してね。) ※手ぶらでも OK <http://nankoshi.jimdo.com/>

第18回さようなら原発川越パレード (偶数月第一土曜日)

●集合：4月4日(土) 集合：15時・川越駅東口・緑地公園 (川越市駅よりの踏切脇) 出発：15時半 ●主催：さようなら原発川越の会 http://blogs.yahoo.co.jp/sayonara_nukeskawagoe ●連絡先：田中重仁法律事務所・049-226-6171

「3・11全国一斉スタンディング」全国どこよきこよき

昨年6月から南越谷駅前で始めた「南越スタンディング」について、Facebookやホームページなどで発信したり情報交換をしたりしています。今年の初めにスタンディング仲間が「南越スタンディング」の報告をFacebookに載せました。その記事に飯田市で4年もスタンディングを続けている方がコメントを入れ、そのコメントを見た私が全国スタンディングを提案し、三人で相談して



柚木ミサトさんのイラストです。カラーでお見せできないのが残念です

準備をして「3・11全国スタンディング」が実現することになりました。

まずはイメージとなるイラストが必要だと思いました。一目で意味が伝わるイラスト。

柚木ミサトさんの描く『あかいつぶつぶ』のようなイラストがあったらいいなあと思ひ、一度しかお会いしたことがない柚木ミサトさんにFacebookのメッセージでお願いしてみました。お忙しい方なので、もちろん「趣旨は分かるけどごめんなさい」と言われ諦めていたのですが、後日、「できたでえ」と応援イラストを送ってくださいました。

鬼に金棒!【3・11全国スタンディング】に柚木ミサトさんのイラスト!そして、イラストを活かしたチラシが完成しました。チラシは、官邸前抗議や集会などでもまきましたし、FacebookやTwitterやホームページで拡散して参加者を募ったところ、次々とスタンディング地点の申し出

小出裕章さん最終講義から「被曝から子供たちを守りたい」

原発の危険性について、40年間以上に渡って指摘してきた小出さんの、最後の講義でも「子供たちを被曝から守りたい」であった。以下その内容を抜粋して紹介したい。

「原発事故の収束なんてとんでもない。肝心な現場が見えず、溶け落ちた核燃料などの炉心は、未だどこにどのような状態で存在するのか分からない。人が近付くと即死するほどの放射能があるからです。こんなに過酷な事故は、発電所では、原発でしか起こらない。4年経っても原子炉の現場に立ち入ることが出来ていない」

「この4年間は、核燃料をこれ以上溶かさないとしよう」と、ひたすら水をかけ続けてきた。水は当然、汚染水に成り、50万トンもがタンクに詰められている。今や、敷地内は放射能の沼のような状態。そこで苦闘する7000人近くの労働者は、きちんと仕事をすれば、大量に被曝してしまつたため、タンクからの水漏れの対応すら難しい。現場を担っているのは、下請け労働者たちで、放射能を閉じ込める

作業を、今後何十年も続けなければならない」

「この広大な土地に、子ども達が生きている。残念ながら私には時間を戻す力はない。こんな事態を許してしまつた私達大人はどんなことをすべきか。私がやりたいことはたった一つ。子供たちを被曝から守ること」

「子供たちは、細胞分裂を繰り返して、どんどん成長するので、放射線被ばくに大変敏感です。子供には全く責任はない。大人は自分が被曝してでも、子どもを守らなければならない。放射能汚染はなくなるので、除染ではなく、実際は「移染」ですが、人が住んでいる現状では移染もしなければなりません」

講義の末尾は

「国民は戦争に協力し、神の国だから負けなないと信じ込まされて、戦争を止められなかった。ごく普通の人々が、戦争に反対する人を非国民と責めた。原発では、推進派が決して事故なんて起きないと口をつた。今後、原子力に対してどう向き合うか、私たちの未来の子供たちから、必ず問われる」と結ばれた。(高橋正久)

がありました。

カリフォルニア州・辺野古ゲート前・関電前・秩父・大館・宮崎市・茅ヶ崎・東京駅・京都市・高尾山口・飯田市・川口・小平・浦和・深谷・横須賀・静岡・草加……その他多数。

3月11日は早朝から各地でスタンディングが始まりました。1人で・2人で・3人で……75人で……午後2時46分には黙とうをした方々もいますし、それぞれがプラカードを掲げ、東日本震災の日祈りと抗議の気持ちを表わしました。仕事を終えてから、池袋でスタンディングなされた方もいました。

人通りの多い駅や交差点や公園などで、思いを込めたプラカードを掲げるだけの静かな行動ですが、全国どこでもできることや用意するものが少ないので受け入れやすい行動だったと思います。北日本では雪が降ったり、寒い日でしたが、各地で多くの方々が頑張りました。お一人で立たれた方や初めてスタンディングをした方も多かったです。

4年目を迎え、未だ収束していない福島原発。2015年3月11日は、行動の始まりの日。思っているだけでは何も変わりません。スタンディングという静かな小さな行動から始めましょう。そしてコツコツを続けましょう。市民が行動を起こせば必ず変わっていきます。全国はもちろん、世界中でスタンディング行動が広がっていくことを願っています。(宮前真知子)

集会の場所は3月から越谷市役所東側中土手広場(平和橋下)に戻りました。



越谷市役所東側中土手広場(平和橋下)。午後6時。待ってます!